

津南地域衛生施設組合津南地域衛生施設組合ごみ処理場、一般廃棄物最終処分場における空間放射線量及びごみ焼却施設における灰中の放射性物質の検査結果について

津南地域衛生施設組合

管理者 津南町長 上村 憲 司

空間線量及び灰中の放射性物質について検査を行ったところ、結果は以下のとおりでした。

(1) 空間放射線量

単位：マイクロシーベルト/h

場 所	測定日	測 定 値
ごみ処理場	8月20日	0.05～0.07
最終処分場	8月20日	0.05～0.06

※ 地上1メートル地点4か所での定点測定結果です。

※ 新潟県では、柏崎刈羽原発でのモニタリングポストによる観測結果をもとに0.016～0.16マイクロシーベルト/hを通常の範囲としています。

※ サーベイメータによる測定結果です。サーベイメータは、人体の被ばく管理用のために最も敏感な皮膚下の数値に補正したうえで表示されます。このため、サーベイメータの測定値は、モニタリングポストの測定値に対し、3割程度高めになる傾向があります。

(2) 灰中の放射性物質濃度

単位：ベクレル/kg

試料名	試料採取日	セシウム 134	セシウム 137	合計
焼却灰（主灰）	8月21日	検出しない	検出しない	検出しない
ばい塵（飛灰）	8月21日	15	32	47

※ 焼却灰（主灰）：ごみの燃焼後に焼却炉に残った灰

※ ばい塵（飛灰）：ごみが燃焼する際に発生するガスの中に含まれているススを集塵機（バグフィルタ）で捕集した灰

※ この検査の検出限界値は10ベクレル/kgです。

※ 「検出しない」とは、放射性物質が存在しない。または、検出限界値未満であることを表します。